

それなあに！？ むしむし見せて！！

7月26日(木) くま組

職員が自宅近くでセミの抜け殻を見つけ、子どもたちに「これ、何だろうね」と見せてみました。

興味津々に見に来て虫だと分かったら、「むし！」と触ってみようとする子、「怖い〜」と顔を引きつらせたり近寄るのも嫌で遠巻きに見たりする子、と反応は真っ二つでした。



虫怖い〜

それなあに？ 私も見たい！

(顔を隠して) 見るのも怖い…



そーっと見てから指でツン、と指でつつき、触っても大丈夫だと自分で分かるとすぐに摘まみあげる子もいましたよ。

昆虫大好きな A 君は抜け殻を目の前に持ち上げてじ〜っと見つめると「死んだ」とポツリと一言。保育者も「これは空っぽになったセミの赤ちゃんだよ」「大きくなって飛んで行ったんだよ」と伝えつつ（抜け殻を説明するのは難しいなあ…）と感じる場面でした。

抜け殻にはピンと来ていなくても、「これは一体何だろう…？」と興味津々な様子で、どの子も真剣に考えているような表情をしていました。

ぴょんぴょんってするよ

死んだらバイバイする

(抜け殻の足を見て) カマキリみたい



Bちゃんが触っているうちに抜け殻の足の部分がポロっと落ちると、丁寧に足を拾って見つめていました。

A君の気づきと呟きがあふれ出ていました



保育者の思っていた以上に抜け殻に興味を持って見てくれたため、セミの図鑑から幼虫と成虫の写真を見せました。成虫の姿を見て「セミ」「ミンミン」と呟き、知っているセミと繋がった様子も見られました。もう少し暑さが落ち着いて戸外遊びが出来るようになったら、ぜひ生きているセミも見せてあげたいです。